



平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 28 年 1 月 29 日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <http://www.ngkntk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 尾堂 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 磯部 謙二 (TEL) 052(872)5918
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 2 月 12 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 3 四半期	287,913	11.7	51,737	11.1	52,143	△1.7	25,578	△14.1
27 年 3 月期第 3 四半期	257,864	5.1	46,572	25.5	53,055	29.6	29,781	16.9

(注) 包括利益 28 年 3 月期第 3 四半期 20,606 百万円(△52.5%) 27 年 3 月期第 3 四半期 43,372 百万円(3.4%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 3 四半期	117.54	—
27 年 3 月期第 3 四半期	136.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 3 四半期	535,976	355,308	65.9
27 年 3 月期	485,497	343,380	70.2

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 3 四半期 353,158 百万円 27 年 3 月期 340,972 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	—	18.00	—	18.00	36.00
28 年 3 月期	—	21.00	—	—	—
28 年 3 月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	391,500	12.6	68,000	9.3	69,500	2.3	36,000	△2.0	165.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 : 1社 (社名) 株式会社日本セラテック

(注) 詳細は、添付資料 P. 5 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 5 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	223,544,820株	27年3月期	223,544,820株
28年3月期3Q	5,923,055株	27年3月期	5,921,224株
28年3月期3Q	217,622,519株	27年3月期3Q	217,626,786株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

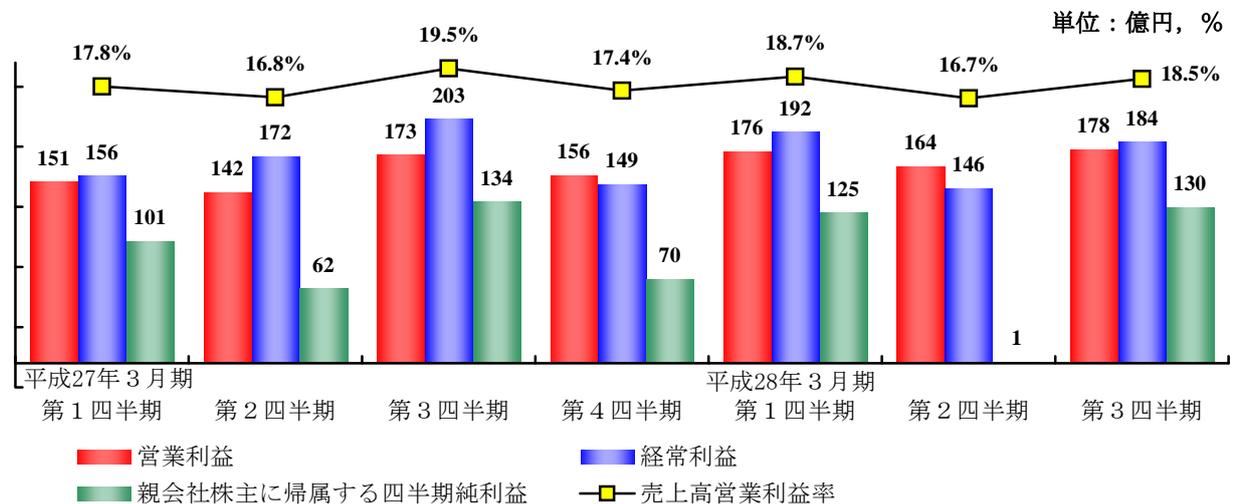
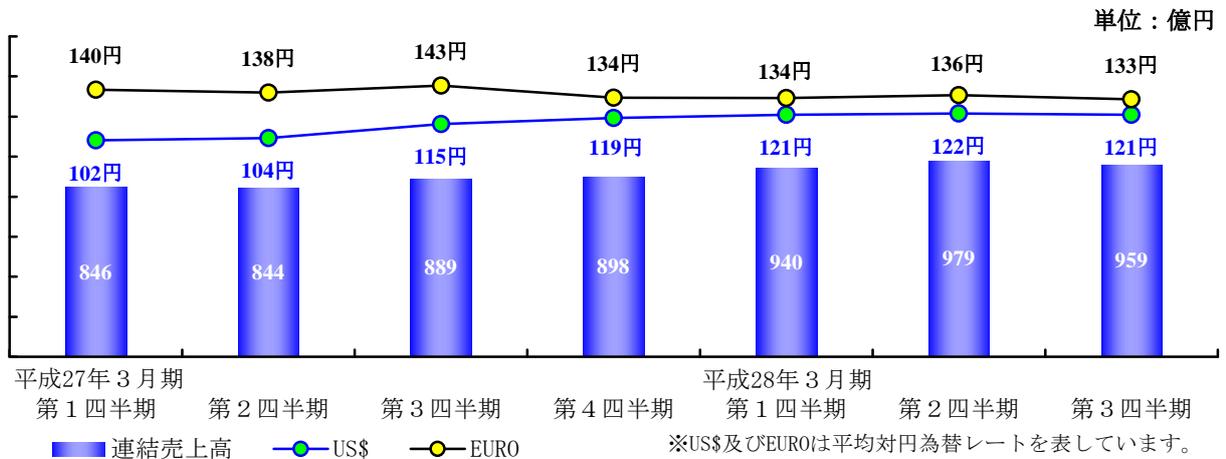
(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、中国及び新興国の景気減速基調は変わらず、わが国経済においては企業収益は良好ながら、景気の一段の加速が見込み難い状況にあります。米国においては中国及び新興国の景気回復遅れに加え、原油安・ドル高の影響による設備投資や輸出の伸び悩み、金利上昇といった景気抑制要因があるものの、一方で家計部門での原油安・労働需給の引き締めりと賃金の伸びの高まりが個人消費の押し上げに寄与し、緩やかに景気回復基調が持続しました。また、欧州においてはフランスの同時多発テロが重荷となった可能性が高いものの他国への波及は見られず、失業率は緩やかながらも改善傾向が持続し、雇用関係の改善が個人消費を下支えしてユーロ圏としては緩やかな景気回復が持続しました。この傾向が今後も個人消費の下支えに作用する公算が大きいと見られます。

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界においては、世界の自動車販売は米国市場で2015年の年間新車販売台数が過去最高となり、また欧州市場でも主要国で需要が堅調となりました。わが国におきましては昨年4月に実施された軽自動車税引き上げによる軽自動車の販売不振が尾を引き、新車販売が低迷しました。

また半導体業界では今後世界市場は緩やかながら成長の持続はあると予想されるも、世界各地域において力強さに欠け、この内スマートフォン市場では、中国市場が成熟してきており、価格面で厳しさが増えています。

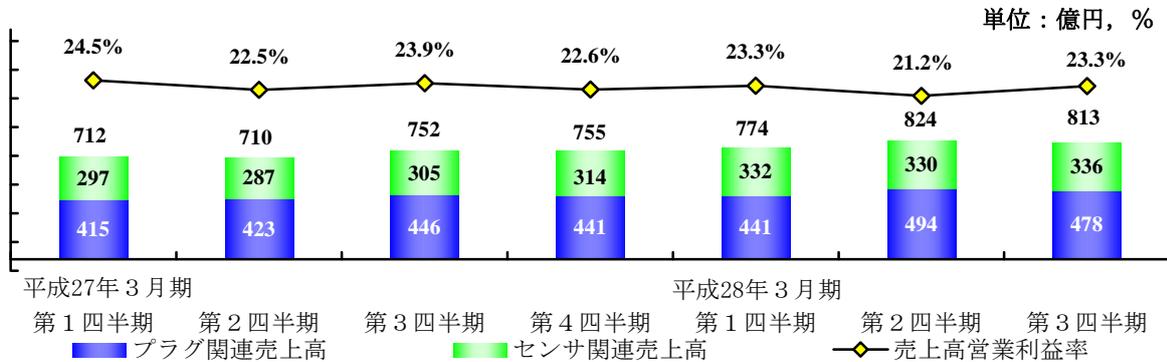
このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は 2,879 億 13 百万円（前年同期比 11.7%増）、営業利益 517 億 37 百万円（前年同期比 11.1%増）、経常利益 521 億 43 百万円（前年同期比 1.7%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は米国反トラスト法(独占禁止法)違反関係で一部の顧客に対する和解金 148 億 37 百万円を特別損失として計上したこと等により 255 億 78 百万円（前年同期比 14.1%減）となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、北米や欧州を中心として自動車販売が伸びており、また第2四半期から連結子会社とした Wells 社の売上も寄与しました。為替相場においても円安基調であることから売上高は堅調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は 2,411 億 19 百万円（前年同期比 10.9%増）、営業利益は 544 億 82 百万円（前年同期比 6.2%増）となりました。

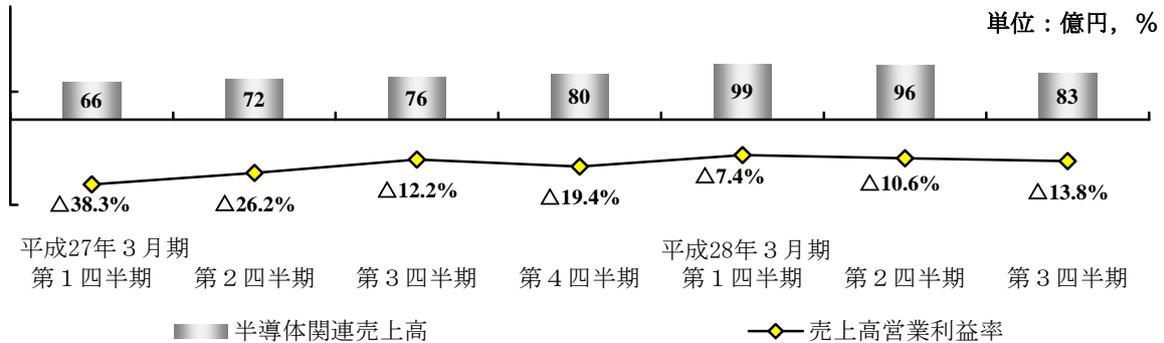


〈テクニカルセラミックス関連〉

半導体関連

当事業は、携帯電話用 I C パッケージは客先所要の低迷により売上高が伸び悩みました。一方、収益面では生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い、改善に努めてきました。また当期より連結子会社とした日本セラテックの売上、利益が当事業に大きく寄与しました。

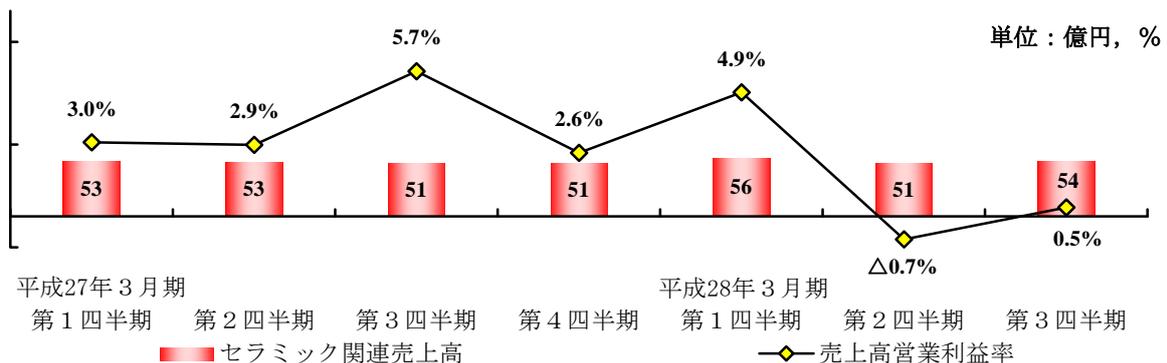
この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は 277 億 35 百万円（前年同期比 29.3%増）、営業損失は 28 億 95 百万円（前年同期は 53 億 60 百万円の営業損失）となりました。



セラミック関連

当事業は、工作機械向け及び産業機器向けの製品出荷は主に欧州や東南アジアを中心に堅調に推移しました。並行して、当事業では「選択と集中」の取り組みを行っています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は 161 億 22 百万円（前年同期比 2.7%増）、営業利益は 2 億 73 百万円（前年同期比 54.7%減）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期第3四半期	277,753	258,223	535,976	180,667	355,308
27年3月期	273,284	212,213	485,497	142,117	343,380

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 504 億 78 百万円増加の 5,359 億 76 百万円となりました。これは、主として設備投資による有形固定資産の増加や連結子会社の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末比 385 億 50 百万円増加の 1,806 億 67 百万円となりました。これは、主として連結子会社の増加や社債の発行及び長期借入金による資金調達によるものです。

純資産は、主として利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比 119 億 27 百万円増加の 3,553 億 8 百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期第3四半期	34,702	△59,394	25,187	75,143
27年3月期第3四半期	18,849	△13,907	△18,307	58,113

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 158 億 53 百万円増加の 347 億 2 百万円となりました。これは、主として法人税等の支払額の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 454 億 86 百万円増加の 593 億 94 百万円となりました。これは、主として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、251 億 87 百万円となりました（前年同期は 183 億 7 百万円の支出）。これは、主として社債の発行及び長期借入れによる収入によるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 8 億 92 百万円を控除した純額で 3 億 97 百万円減少し、751 億 43 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 27 年 10 月 30 日に公表した業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社日本セラテックの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めています。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間より、Wells Vehicle Electronics Holdings Corp. (旧社名：UCI Acquisition Holdings(No.2) Corp.)の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めています。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得または売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用若しくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得または売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、これによる損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,708	39,515
受取手形及び売掛金	68,514	74,015
有価証券	62,839	52,937
たな卸資産	78,379	85,862
繰延税金資産	12,679	11,199
その他	12,549	14,712
貸倒引当金	△387	△490
流動資産合計	273,284	277,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,775	53,344
機械装置及び運搬具（純額）	54,718	70,107
土地	18,082	20,180
建設仮勘定	13,448	18,871
その他（純額）	3,043	3,592
有形固定資産合計	140,068	166,097
無形固定資産		
のれん	—	14,618
ソフトウェア	3,131	3,534
その他	288	4,774
無形固定資産合計	3,420	22,927
投資その他の資産		
投資有価証券	65,714	66,532
繰延税金資産	867	809
その他	2,270	1,984
貸倒引当金	△127	△127
投資その他の資産合計	68,724	69,197
固定資産合計	212,213	258,223
資産合計	485,497	535,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,239	26,302
短期借入金	668	12
1年内償還予定の社債	15,000	—
リース債務	187	181
未払法人税等	7,782	1,733
その他	30,456	35,699
流動負債合計	79,334	63,929
固定負債		
社債	25,000	55,000
長期借入金	5,000	24,860
リース債務	298	233
退職給付に係る負債	24,012	24,707
繰延税金負債	7,129	10,558
その他	1,343	1,378
固定負債合計	62,783	116,738
負債合計	142,117	180,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,824	54,824
利益剰余金	223,135	240,227
自己株式	△7,640	△7,646
株主資本合計	318,189	335,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,297	30,762
為替換算調整勘定	△4,017	△9,753
退職給付に係る調整累計額	△3,496	△3,125
その他の包括利益累計額合計	22,782	17,883
非支配株主持分	2,407	2,149
純資産合計	343,380	355,308
負債純資産合計	485,497	535,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	257,864	287,913
売上原価	166,051	183,915
売上総利益	91,812	103,997
販売費及び一般管理費	45,240	52,260
営業利益	46,572	51,737
営業外収益		
受取利息	1,140	1,214
受取配当金	1,030	1,177
持分法による投資利益	863	—
為替差益	3,059	—
その他	1,472	1,264
営業外収益合計	7,566	3,656
営業外費用		
支払利息	303	245
持分法による投資損失	—	197
為替差損	—	1,852
休止固定資産減価償却費	143	162
その他	635	792
営業外費用合計	1,082	3,250
経常利益	53,055	52,143
特別利益		
固定資産売却益	62	63
特別利益合計	62	63
特別損失		
固定資産処分損	364	245
投資有価証券評価損	16	—
独占禁止法関連損失	5,687	—
和解金	—	14,837
特別損失合計	6,068	15,082
税金等調整前四半期純利益	47,049	37,124
法人税、住民税及び事業税	14,299	7,517
法人税等調整額	2,737	3,797
法人税等合計	17,037	11,315
四半期純利益	30,012	25,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	230
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,781	25,578

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	30,012	25,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,676	468
為替換算調整勘定	8,688	△5,774
退職給付に係る調整額	381	371
持分法適用会社に対する持分相当額	614	△268
その他の包括利益合計	13,360	△5,203
四半期包括利益	43,372	20,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,909	20,679
非支配株主に係る四半期包括利益	463	△73

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	47,049	37,124
減価償却費	9,801	11,519
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△102	△206
受取利息及び受取配当金	△2,170	△2,391
支払利息	303	245
持分法による投資損益 (△は益)	△863	197
固定資産処分損益 (△は益)	302	182
投資有価証券評価損益 (△は益)	16	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,410	3,159
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,857	△2,594
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,331	138
その他	△1,975	△81
小計	42,762	47,292
利息及び配当金の受取額	1,875	2,708
利息の支払額	△302	△205
法人税等の支払額	△25,485	△15,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,849	34,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,206	△1,493
有価証券の純増減額 (△は増加)	11,387	2,857
有形固定資産の取得による支出	△28,697	△29,898
無形固定資産の取得による支出	△834	△753
投資有価証券の取得による支出	△1,946	△238
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,100	6,104
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△37,619
その他	288	1,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,907	△59,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△705	△654
長期借入れによる収入	—	19,848
社債の発行による収入	—	29,859
社債の償還による支出	△10,000	△15,000
自己株式の取得による支出	△27	△6
配当金の支払額	△7,173	△8,478
その他	△401	△380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,307	25,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,512	△892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,853	△397
現金及び現金同等物の期首残高	68,966	75,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,113	75,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカルセラミックス関連 半導体	セラミック	計					
売上高									
外部顧客への売上高	217,338	21,452	15,699	37,151	254,490	3,374	257,864	—	257,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	217,338	21,452	15,699	37,151	254,490	3,374	257,864	—	257,864
セグメント利益 又は損失(△)	51,306	△5,360	603	△4,757	46,549	23	46,572	—	46,572

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカルセラミックス関連 半導体	セラミック	計					
売上高									
外部顧客への売上高	241,119	27,735	16,122	43,857	284,977	2,936	287,913	—	287,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	241,119	27,735	16,122	43,857	284,977	2,936	287,913	—	287,913
セグメント利益 又は損失(△)	54,482	△2,895	273	△2,622	51,860	△122	51,737	—	51,737

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。